



里山部会

★9月14日(日):小川フィールド 参加者8名

里山部会長 佐藤謙治

■雨後曇り 8:00~15:00

参加者8名:地域貢献水路清掃・竹炭の袋詰め・ナラ枯れ木

伐採活動。早朝の8時、
2mm~3mm/hの雨

に関わらず「女性4名、男性3名」集合し、先月雨で中止した地域貢献水路清掃を実施。地域の世話役をされている新宅様より用水路上に松の倒木が2か所の処理依頼と合わせ清掃実行。チェーンソー・ロープ・スコップを手に現地へ。1か月前は2か所の倒木箇所が6か所あり。松枯れして腐朽倒木までの期間は十年程かかるようですが、先週からの局地的大雨で一斉に倒れたのか、周りは松の倒木だらけであり大雨後のこの時期、松林に入山するときは落枝、倒木に十分注意が必要だと感じた。山へ入山する場合「ヘルメット」は必

須!

さて、小川フィールド内、7月ぐらいに羽化した「カシナガキクムシ」が新たなコナラへ穿孔、葉が枯れるナラ枯れ発生。雨で滑りやすい作業場であったが2本伐倒処理。松はほとんど腐朽し倒木進行中だが、足元を覗くと実生した10cmほどの幼木。。コナラ、クヌギ類はナラ枯れし萌芽するも鹿の食害に遭い再生は難しい。樫類の常緑広葉樹に替わるなど、森林循環を感じさせる活動であった。また4月に焼いた竹炭を50袋程袋詰め。これも森の恵みの循環かと部会経費にしたい。森の中での活動は健康づくりに貢献する様で90歳代の北野先輩も元気に活動と指導をして頂いております。皆さま、森は健康、ストレス解消他多様性に富んでいます。樹木の「フィトンチッド」を体験してみませんか。



竹炭の包装・パンフレット (広瀬祥子氏作)



「カシナガ穿孔」フラス(木のくず)



用水路上の松倒木処理



★9月6日(土) 13日(土) 9:00~15:00 参加者13名 部会長 岩田 幸信



作業風景沖野さん

いつも通り、9時から8月の反省会及び今後予定のミーティングを行い、作業内容の伝達・注意事項の説明後に作業開始。まずは、7月に行った草刈りから2ヶ月が経ち、作業場付近の雑草が目立ってきたので、草刈りを行いました。他のメンバーは、子どもデイサービス「ゆうゆう」の準備と、来年の干支の置物のデザイン選定を行いました。

クラフト部会



13日もまた、お茶を飲みながらゆったりとミーティングからスタート。「ゆうゆう」の

準備、また、10月25日(土)広島市植物公園で行われる、「秋のグリーンフェア」、11月3日(火)に広島市森林公園で行われる「森の市」の準備を行いました。10月、11月の秋のシーズンは例年イベントが続き、12月にはドイツクリスマスマーケットの出店要請を受け、準備でてんてこ舞いとなります。是非、皆さまのご協力をお願いします。10月は、4日と11日の土曜に、鹿ヶ谷作業場でクラフト部会を開催しますので、どなたでも参加自由です。見学でも良いですから気軽においで下さい。お待ちしております。



材料製作中 青木さん



環研部会 報告 & ご案内

★ 9月 20 日(土)もりメイトキッズフィールド (大竹市松ヶ原)にて環境整備
参加人数：7名 部会長 佐々木 綾子

今月の主な活動は、担当を決めて、ツリーハウスの階段の補強と防水塗料の塗装、倉庫の整理。また、母屋の床が朽ち修繕が必要となり、急遽行うこととなりました。

倉庫に保管している道具や備品すべてに名札を付け、置き場所や数をリストに記載しました。ツリ

ーハウスの階段は、階段の板が外れそうになっていたり、丸太が朽ちてきて、そろそろ付け替えの時期にきており強度を上げるための作業を行いました。母屋の床の修繕は北田さん、山地さん中心に基礎部分から板材設置まで行いました。途中雨が降り出しましたが、少人数で効率よく作業ができました。



徳永さんをリーダーに倉庫整理



階段修繕のリーダーは川原さん



母屋の床材基礎修繕



床基礎防腐剤塗布